

## ホテルのおもてなしを取入れた介護施設 介護業務をスマート化しサービスを向上

ホテルチェーンのスーパーホテルを母体とし、ホテルのホスピタリティを持ち合わせた介護施設を創りたいという思いにより会社を設立。有料老人ホーム、賃貸マンションの運営・管理等を行う。平成27年に異分野連携新事業分野開拓計画の認定を受け、ITによる介護記録や薬歴情報を連動させる仕組みを導入。介護スタッフおよび看護師・薬剤師の業務効率化によるサービス水準の向上とワークライフバランスの充実を両立している。

●所在地 大阪府大阪市西区西本町1-7-7

●電話/FAX 06-6543-2291/06-6543-9007

●URL <http://www.supercourt.jp/>

●代表者 代表取締役 山本 健策

●設立 1995年

●資本金 5,000万円

●従業員数 778人



### ホテルのおもてなしを取入れた質の高いサービス

有料老人ホームの競争が激化するなか、同社はホテル業を母体としていることから、ホテル並みのホスピタリティを提供することを会社設立時からの目標としている。医療機関との提携による高度な医療サービスや身体機能の向上を目指したトレーニング、認知症ケア専門士を配置して五感を刺激する療法を取入れた認知症ケアなど、多様なサービスを提供している。さらに、本物の天然温泉を配送するなど、ホテルのおもてなしを取入れた独自のサービスを展開し、他社との差別化を図っている。



高齢者運動トレーニング（SC-Fit）の様子

### 電子介護記録システムの導入による業務の効率化

電子介護記録システムを導入し、介護記録と投薬・薬歴情報を相互連携・参照させている。これまでの手書きによる介護記録の作成業務をシステム化することで、職員負担を軽減。さらに、投薬・薬歴情報との連動により、入居者の日々のバイタル情報ははじめとした各種介護記録を提携薬局へ提供可能とした。これにより、介護施設側では投薬ミスを防止し、ご入居者・ご家族への安全・安心を提供。また薬局側においても、介護記録情報活用による投薬タイミングの最適化が可能となり、サービス向上につながっている。



介護記録情報端末にて方針共有の様子

### 人材育成と質の高い介護サービスの提供

介護業界においては、サービスを提供する「人」の育成が、事業の付加価値向上を決定づける。そのため、介護技術レベルを認定するケアマイスター制度や、ライセンス制度など様々な仕組みを設け、従業員の介護スキルとマインドを醸成。また、IT化により従業員の業務負担を軽減することで、質の高いサービス提供との相乗効果を図っている。さらに、グローバル人材育成にも取り組み、フィリピン、ベトナム等からの留学生を受入れ、メンタル面のサポートを含めた独自教育により、協働体制を確立している。



グローバル人材研修の様子